岡崎市制100周年記念事業
岡崎まちものがたり

正名のくろがねもち

「くろがねもち」は高木に分類されるものの、自然状態での成長は普通 10m 程度にとどまり、あまり高くならない。明るいところを好む。葉は革質で、楕円形でやや波打つことが多く、深緑色である。表面につやがある。若い茎には陵があり、紫っぽく色づくことが多い。春 4 月に新芽を吹き、葉が交替する。雌雄異株で、花は淡紫色、5 月から 6 月に咲く。たくさんの果実を秋につける。果実は真っ赤な球形で、直径 6mm ほどである。

しばしば、庭木としても用いられ、比較的都市環境にも耐えることから、公園樹、あるいは街路樹として植えられる。「くろがねもち」が「金持ち」に通じるから縁起木として庭木として好まれる地域もある。西日本では野鳥が種を運び、庭等に野生えすることがある。材木は農機具の柄としても用いられる

正名町の「くろがねもち」は県下有数の大きさで、推定樹齢が250年以上ある。家屋に接した独立樹であり、枝下は高く、「くろがねもち」特有の大枝を有する。樹冠の広がりは、同種とは異なる独特の姿である。樹高18m、枝張りは左右前後に17mに及んでいたが、現在は刈り込まれて全体に小さくなっている。

正名町のくろがねもち 20150807

正名町のくろがねもち 20150807

くろがねもちの花

くろがねもちの実

本項は以下の資料を引用している。

[わたしたちのふるさと　六ッ南 114 選]

監修者　総代会長　平井　良美
　　社教委員長　近藤　武美
著者　　岡崎市立六ッ美南部小学校 6 年児童 114 名
　　（平成 25 年 3 月 19 日卒業）
編者　　岡崎市立六ッ美南部小学校 6 年担任
　　権田　康成、加納　隆、坂井　純、榊原　美佐子、山本　佳愛
発行日　2013（平成 25）年 3 月 1 日　初版発行
印刷所　ブラザー印刷株式会社
製本　　ブラザー印刷株式会社
発行　　岡崎市立六ッ美南部小学校